

猿2匹新加入

猿回しを生業(なりわい)としていたオジサンが亡くなられ、芸をしながら生きていたニホンザル2匹が行き場を失いました。亡くなった猿回しのオジサンの親族の中の1組のご夫婦が「これまで長きにわたり働いてきた猿を安楽死させるなんて、できない」と車で何時間もかけて、扱いもわからないニホンザルのお世話に通っておられました。そんな生活はいつまでも続け

箱入り子猫



今年から新たな試み《乳飲み子は段ボール箱で育てる》これ…ええですよ！私にとってはとっても気に入っています。段ボール箱の底に使い捨てカイロを置いて柔らかい素材の毛布を置いてボックス

られるわけもなく「助けてもらえないか」…とうちに引き取りの相談が来しました。実際に私は6年前からニホンザルを育てていますが、ニホンザルは噛む力もすごいですし、爪で引つ掻く力も相当で、運動能力は犬以上に力強く…猫以上に俊敏で…他の動物とはまったく違う思考能力もあるので、ゴマかしも効かず、かなり危険な野生動物です。おまけにニホンザルは特定動物に指定されているので「かわいいから」「かわいそう

ティッシュを敷き詰めます。ティッシュは授乳のたびに全部取り換え、キレイそうなどころはオシッコを出す時に使います。清潔をうたい過ぎて物をバンバン使い捨てることは間違いだと思はれます。清潔はそ〜ゆ〜ことではなく菌やウイルスを自家繁殖させないこと。これだけでええと私は思いません。きれいなティッシュを捨てるのは忍びなくて私にはできませんしね♪



だから」そんな単純な気持ちだけで誰しもがおいそれとは飼育することができない動物です。

これまで4匹のニホンザルを飼育している私としても、正直…できることならニホンザルは引き取りたくありません。しかし「これまで長きにわたり働いてきた猿を安楽死させるなんてできない」。この一心で車でも何時間もかけてもらった扱いもわからないニホンザルのお世話に通っていただいた親族の方の気持ちと努力をくんで、私たち犬猫みなしご救援隊は自分たちができる最善を尽くそう！ということになりました。

写真右は「はなこ」25

歳、周防から来たそうです。左はみつこ12歳。福知山動物園から来たそうです。ベテランはなこは、ここでこんな感じで座って外にいる私たちと握手をしてから食べ物を食べています。

芸を覚えた動物はすでに褒められたい意識を持っているから、芸をさせてしっかり褒めるべきなのです。敬礼なのかごめんなさいなのか…芸ができないと言われていたみつこは私たちが部屋に入るだけでこのポーズをとります。『そんなことをせんでもええよ』と思いますがそれが動物園から猿回しの猿として引き取られたみつこの「生きる道」だったんでしよう…切なくなりませんが、私はみつこのこの芸を見て、うんと褒めています。

5月の予定

19・20日||佐賀TN
R▼21日||熊本TNR

本紙は中谷百里代表ブログ「みなしご庵へようこそ」の記事を抜粋したものです。

ソフトバンクの「がざして募金」、ジャパングビングで寄付ができます。
(<https://japangiving.jp/supports/1281>) 皆さまからのご支援、よろしくお願いたします。

スマホをかざすだけで募金ができる

がざして募金

JAPANGIVING

みなしご通信のバックナンバーは、公式ページ (<http://www.minashigo.jp/newpaper/index.html>) に掲載しております。

NPO法人(特定非営利活動法人) **犬猫みなしご救援隊**
www.minashigo.jp

犬猫みなしご救援隊
〒731-0234
広島県広島市安佐北区可部町大字今井田690-2
TEL : 082-812-3745 FAX : 082-815-2711